

# 「総合観光業」を推進

## ワールド・ヘリテイジ 京都で三都の集い

今年6月にホテル関西と「ループのワールド・ヘリテイジ」を運営統合した、ノブレスグレイジ（奈良市、川井徳子代表）は、三都の集いを、京都市下京区の「きょうと和み館」で開いた。旅行代理店など約70社の取引業者が参加。奈良、京都、大阪を結ぶ総合観光



会合であいさつする川井代表（京都府下京区のきょうと和み館）

業として新たな一歩を踏み出した同社が今後の方針などを発表し、相互に交流した。

同社は歴史と文化を知ること、旅を深める「知見旅」を展開。会合では冒頭、川井代表が「より深く、歴史文化を学ぶ旅をつくるのが私たちの使命。文化の多様性を大切に、観光を世界平和の礎として活動したい。奈良、大阪、京都の三都を

視野に観光業の本質を意識した総合観光業を推進していく」と決意を語った。

続いて、県立図書館の千田稔館長が「万葉集と日本文化」で講演。万葉集の舞台の桜井市、明日香村の歴史に触れ、歴史と文

学への知見を深める新たな観光について解説した。その上で「日本人は同質性志向から異質性志向へ変化している。観光も個人の要求に合わせたコンテンツが必要」と話した。

このあと来年1月開業予

定の「ホテルソビアルならば大国町」の概要を紹介。料理長監修の奈良、京都の郷土料理を生かした創作和食を提供した。また県ビジターズビューローなどとの商談会もあった。